



▲春らんまん 笑顔も満開（蒲生町白男）

かごしま
あいら
市議会だより

No.4 **3月定例会**
平成23年4月30日発行

一般
質問

20人市政を問う

12

追跡

松原小学校27年開校

22

新しい事業。ヒックアップ

8

予算

合併後の
本格予算 **4**億円増

4

268億円

一般 会計



▲子どもの笑顔はみんなの宝（蒲生中央公園）

『始良市総合計画』ほか

基本計画を策定

3月定例議会は、2月25日から3月28日までの32日間の会期で開きました。

笹山市長の施政方針に始まり、平成23年度一般会計予算や特別会計予算、平成22年度の最終補正予算の審議、条例制定や市道認定などの議案を審査しました。

請願1件、陳情1件を継続審査とし、陳情2件は趣旨採択として、残りすべての議案を原案どおり可決しました。

税金を依然として 厳しい財政運営

国・県からの支出金が増えた分、新たな借金（市債）をおさえた予算となっています。

厳しい経済不況を反映して市税の伸びは期待できず、依存財源（地方交付税や市債など）が68%と依然として厳しい財政運営となります。

施政方針



笹山市長

「県内で一番暮らしやすいまち始良市」実現をめざして、私のリーダーシップはもとより、市民と職員が一体となって、英知と創意を結集し、市民の皆さまに「合併して良かった」と実感していただける市政運営に努めます。

7つの基本方針

- ①共生・協働によるまちづくり
 - ・自治会活動の支援や、地域づくり関連事業の促進を図る
 - ・男女が互いに人権を尊重しつつ、「男女共同参画社会」の実現を目指す
- ②地域の特性を活かした魅力あるまちづくり
 - ・新市の一体感醸成のため、蒲生・始良・加治木の庁舎間を結ぶバス路線の開設
 - ・快適で個性的なまちづくりのための「都市計画マスタープラン」を策定
 - ・人口定住化のための実情に応じた公営住宅事業の推進
- ③創造性豊かな活力ある産業の育つまちづくり
 - ・農業、農村活性化のための人づくり・組織づくりを推進
 - ・「始良市特産品協会」を設立し、始良らしい「食」の提供と観光客誘致につとめる
 - ・企業誘致では、旅館・ホテル等について、3年間の期限つきで進出の補助制度を設ける
- ④自然にやさしく、人にやさしいまちづくり
 - ・生活排水浄化は、錦江湾の浄化につながり、豊かな自然を守るために諸施策を推進
 - ・資源物収集は、市民の負担を軽減できる方策を研究検討する
 - ・犯罪防止のため、地域ぐるみで防犯体制の構築を図り、交通安全施設も充実を図る
- ⑤ともに支えあい、いきいきと暮らせるまちづくり
 - ・「健康寿命」を延ばすための各種健康増進策の推進
 - ・子育て世代の経済的負担の軽減や、幼児教育の環境整備
- ⑥心豊かな生きがいのある人づくり・まちづくり
 - ・伝統と文化を継承・発展させながら、地域社会全体で子どもを守り育てる教育
 - ・建昌小の「分離・新設」については、計画的にその建設を進める
- ⑦効率的な行政経営によるまちづくり
 - ・健全な財政運営と時代に即応できる行政経営能力の向上
 - ・窓口業務の効率化とやさしい窓口対応
 - ・職員の意識改革と持続可能な行財政基盤の確立

微増

本格予算と総合計画

づくりなどが始動

平成23年度始良市一般会計予算の歳入歳出総額は268億200万円となり、前年度当初予算に比べ1.5%の微増となりました。

今年の特徴として、市長の公約実現に期待する市民の声に対応して、子ども医療費や予防接種費助成などがあります。また小学校、斎場、消防庁舎など建設のための

※PFI導入可能性調査費や、街路整備、公園トイレの水洗化、市営住宅建設など、建設費も増加し、「県内で一番暮らしやすいまち」づくりへの市長の思いが表れた本格予算となりました。

※PFIとは、建設・運営などに民間資金と手法を活用し、効果的な公共サービスの提供を図る方策



▲地域の子どもはみんなで育てよう

市長の施政方針や予算説明を受け、また本市の課題や身近な問題点を捉え、20人が市長の考えをいただきました。
(12ページ〜21ページに掲載)

20人が一般質問

予算 268億200万円

前年度との比較 1.5%増



▲歴史は古から未来へと引き継がれます（春花の遺跡発掘調査）

合併後の本格的な予算額 前年度より4億円の増額

平成23年度当初予算額268億200万円は、合併後の本格的な始良市の行政運営費として計上されました。合併当初予算額264億200万円との比較では4億円（1.5%）の微増です。

歳入の増額は地方 交付税と国・県負担金

地方交付税は、前年度予算額に対して11億5000万円（16%）の増額です。

平成23年度の「地方財政計画」で、特別枠「地域活性化・雇用等対策費」が創設され、普通交付税が充実されます。

国・県負担金は、前年度予算額に対して9億4570万円（19%）の増額です。

障害者自立支援給付費、こども手当、生活保護費

など社会保障関係経費が主なもの。

減額は市債（借金）と 国の交付金

市債は、社会資本整備（農林業基盤・道路・住宅等）費用で、前年度予算に対して16億3417万円（35%）減額です。

歳出の増額は生活 保護費と建設事業費

増額は、生活保護費など扶助費7億1809万円（13%）と建設事業費

合併後の本格

7億4478万円が主なものです。

減額は 公債費と補助費

減額は、公債費13億5675万円（26%）、補助費等2億3899万円（13%）です。

23年度予算総額 415億9378万円

23年度一般会計と特別会計の合計額は、415億9378万円です。一般会計予算の割合は64%、特別会計は36%です。

特別会計のうち国民健康保険事業82億6000万円（20%）、介護保険事業51億1540万円（12%）です。

国民健康保険事業は、医療費の増加が続いて、基金からの繰入額が2億6000万円、基金残高は1100万円が見込まれて極めて厳しい状況です。

会計区分別予算内訳表

単位：万円・%

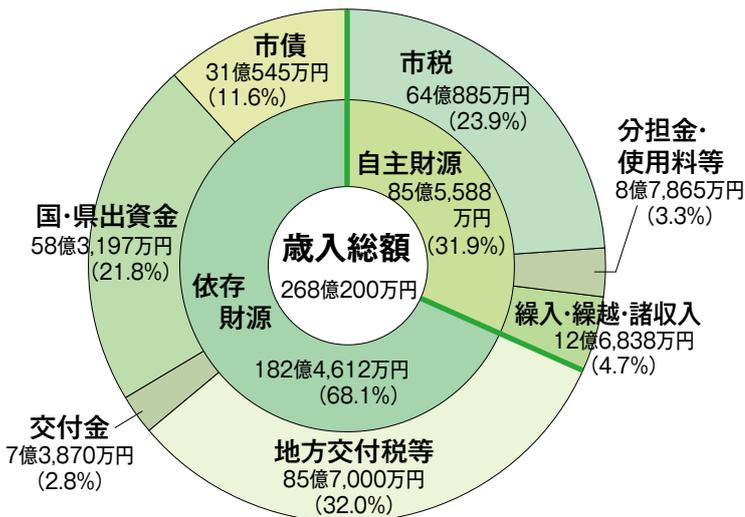
予算科目	予算額	構成比	概要説明
1 一般会計	268億 200	64.44	市の一般部門を担う会計
2 特別会計	147億9,178	35.56	事業の目的を持つ会計
①国保事業	82億6,000	19.86	74歳までの市民が対象の医療保険
②国保施設（北山診療所）	8,450	0.20	北山診療所の運営経費
③後期高齢者医療	8億 500	1.94	75歳以上の市民が対象の医療保険
④介護保険事業	51億1,540	12.30	介護認定者に対する給付事業
⑤介護保険サービス事業	6,370	0.15	介護認定等サービス事業（予防計画策定等）
⑥簡易水道施設事業	1億4,546	0.35	上水道未整備地区水道事業の償還と維持管理
⑦農業集落排水事業	6,160	0.15	農村下水道事業の償還と維持管理事業
⑧地域下水処理事業	2,574	0.06	下水路を伴う合併浄化槽の維持管理
⑨農林業労働者災害共済事業	239	0.01	農林作業中の事故等の救済制度
⑩土地区画整理事業	2億2,800	0.55	帖佐第一土地区画整理事業
合計	415億9,378	100.00	



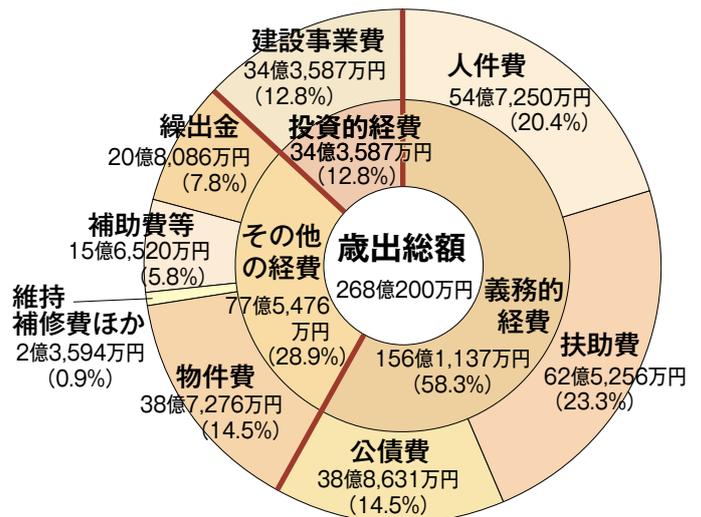
▲賑やかな五ツ太鼓が新たなまちに響きます（薬師太鼓）

歳入と歳出の分析表

歳入



歳出



自主財源は 85億5588万円

自主財源は、市民税など自治体自らの収入です。23年度は85億5588万円(32%)、22年度は86億2711万円(33%)で、7123万円減額です。市税等の収入は景気低迷等の影響で、年次的に減少しており、財政調整積立金等を取り崩して補っています。

依存財源は 182億4612万円

依存財源は、国から交付される地方交付税、国・県支出金、市債などです。23年度は182億4612万円(68%)、22年度は177億7489万円(67%)で、4億7123万円の増額です。22年度と比較して大きく変動した財源は、地方交付税が11億5000万円増額し、市債(借金)が16億3417万円減額しています。22年度の市



▲さえずりの森植樹祭 きれいに咲いて

債は、加音ホールの借り換え債が多額であったためです。

義務的経費は 156億1137万円

義務的経費は、職員等の人件費・生活保護費等扶助費・公債費(借金返済)に分けられます。22年度に比較すると、人件費は1億7786万円増額、扶助費は7億1809万円増額、公債費は13億5675万円減額しました。公債費は借換えがあるため、年次的に変化しますが、扶助費は年次的に増加しており、

その他の経費は 77億5476万円

その他の経費は、物件費、補助金等、繰出金に大別できます。22年度に比較すると、物件費は2億4653万円増額、補助金等は3646万円増額、繰出金は1億3402万円増額で、特別会計へ繰出します。

投資的経費は 34億3587万円

投資的経費は、普通建設事業と災害復旧事業で、22年度に比較して、4億6933万円の増額です。増額の要因は、山田保育園の園舎建て替えや、公営住宅建設事業等が主なものです。

地方交付税の額が減少した場合は、他の経費に影響が出てきます。

自主財源の確保を図れ

質疑 市税などの自主財源は、長引く不況の影響で年次的に減少している。安定した行政運営のためには、安定した自前の財源確保が欠かせない。市長はどのような対策を講じるか。

答弁 県内でいちばん住みよいまちにして、多くの皆様に住んでいただくことである。新しい家が建築されることによって、人口が増加し、固定資産税や住民税の収入が増加して、安定した自前の財源確保が可能になる。



▲大きく育て（三船保育園）

行政連絡員など

自治会活動の支援を検証

合併して一年余が経過しました。旧3町の取り組みの一元化は、無理があるようです。自治会の行政連絡員と地域活動助成について検証しました。証しました。地域によって受け皿や、活動支援名称が異なり、1戸当たり支援額にも格差がありますが、24年度には統一する予定です。

行政連絡員関係調書

	始良地区	加治木地区	蒲生地区
職名	行政連絡員	行政連絡員	地区公民館長・主事
選任	自治会長が就任	自治会から推薦	地区公民館長・主事が兼任
職の任期	1年（再任可）	1年（再任可）	1年（再任可）
委託方式	委託（委託料）	委託（委託料）	委託（交付金）
H21年度行政連絡員委託料実績	行政連絡員委託料 42,452,010円 地域づくり自治会 活動補助金 8,993,640円	行政連絡員委託料 25,501,500円 コミュニティー 活動補助金 8,532,002円	地区公民館行政 事務委託交付金 12,313,890円
合計額	51,445,650円	34,033,502円	12,313,890円
算定戸数	19,637戸	8,697戸	3,270戸
1戸当たり額	2,620円	3,913円	3,766円

討論（一般会計）

賛成 25人

森 弘道議員

予算概要は、市長の施政方針のとおり県内で一番暮らしやすいまちの実現をめざし、新市まちづくり計画及び第一次始良市実施計画の7つの基本方針に沿って、編成されている。

東日本大震災の甚大な被害を一日も早く復興するために、交付金等は厳しくなることが予想される。

農政関係では、新規就農支援事業と認定農業者支援事業など新たな事業が創設された。また、子ども手当及び子ども医療費助成等は、若い世代に希望の持てる予算となっている。

自主財源が22年度より0.8%減少しているため、市税等財源確保に努力されることを願って、賛成討論とする。

反対 3人

里山和子議員

企画費の民間資金等活用調査委託料に、428万円が予算化されている。平成25年度から建設予定の小学校や消防署、斎場の建設にPFI方式か、起債方式かを検討するための予算と述べたが、どちらにしても約50億円の莫大な借金や資金が必要であり、安全性の問題、後年度負担が長くて大きいこと、地元建設業者に仕事がまわるか明確でないことなどが問題である。一方では、子宮頸がんワクチンが県内43市町村の中で始良市だけが予算化されていないことが判明したため、補正予算での対応を強く要望した。行革で女性の家講座謝金が約255万円削減され、住民サービスが後退しているため、反対討論とする。

新市まちづくり

新たな一歩

平成23年度予算から市民の皆様身近な新しい事業をピックアップしてみました。

緊急通報受信センターが 24時間体制で見守り **796万円**



▲指で押すだけで安心通報

質疑 新しいシステムの内容はどうか。
答弁 これまで、障がいや病気を抱っている高齢者に、市が緊急通報装置を貸し出していた。23年度から市が緊急通報受信センターに業務を委託する。センターは365日24時間体制で、経験豊富な保健師・看護師が利用者からの通報を受け、緊急時の対応や生活相談に対応する。月一回以上、センターから安否確認を兼ねて声かけ電話も行う。
質疑 これらにかかる通話料金はどうか。
答弁 料金は無料である。

本庁と総合支所間に 巡回バス **326万円**



▲庁舎間移動がとても便利になります

質疑 本庁舎・総合支所間の巡回バスはどのように巡回するのか。
答弁 蒲生の楠田から蒲生総合支所前を通り、本庁舎・JR帖佐駅・南九州病院前・加治木本町・JR加治木駅・加治木総合支所を巡回する。土・日・祝日以外の平日3往復を計画しており、所要時間は片道36分。

小児用ワクチン接種費用を全額助成

5000万円

質疑 ヒブワクチンと小児肺炎球菌ワクチン接種の助成内容を説明せよ。
答弁 生後2か月から4歳までが対象になる。接種回数はワクチンと年齢に応じて1回から4回と異なる。接種費用は1回の接種につき、小児肺炎球菌ワクチンは9500円、ヒブワクチンは7000円であり、全額助成する。市が医療機関へ直接接種委託料を支払うので、保護者の病院での支払いはない。



▲天気の良い日はお庭で元気よく

あいら未来特使団 153万円

「日本一にチャレンジ」
市内の小・中・高生が対象

質疑 あいら未来特使団の事業目的と内容を問う。
答弁 市内の小・中・高校生に「たくましく生きる力」を体験を通して身につけてもらう目的で、「日本一の富士山」への登山に挑戦する。募集人数は20人を予定している。今後も国内外を問わず様々な体験活動に挑戦する計画である。

補正予算

小学校校庭に芝生 504万円

加治木小学校・始良小学校

質疑 小学校校庭の芝生化の内容を問う。
答弁 始良小学校と加治木小学校の校庭の一部を芝生化する。日光の照り返しや、強い風が吹く時の砂ぼこりの防止と環境学習に役立てる。それぞれの学校の校庭に校舎に沿って5〜7m幅で約500㎡に芝生を植える。植栽に適した5月頃までに植え付ける。



▲芝生化で快適な教育環境をめざす(加治木小学校)



▲建て替えて安全・安心な園舎に

質疑 認可保育所の私立山田保育園の建て替えの内容を問う。
答弁 山田保育園は、昭和54年に建設され、築後31年が経過して園舎や施設設備が古くなっている。園舎を建て替えるとともに、放課後児童クラブなど新たな子育て支援機能を備えた学童保育室を併設する経費の一部を補助する。

山田保育園建て替えに助成 1億2586万円

新規就農者・認定農業者に 新しい支援策 860万円



▲始良市農業の新戦力 新規参入農業者

質疑 新規就農者支援事業、認定農業者支援事業の事業内容を問う。
答弁 新規就農者支援事業は、農業後継者確保と育成を目的に奨励金を支給する。農業基盤のない新規参入者には、就農奨励金20万円と営農奨励金月額5万円を2年間、新規後継者には、後継奨励金30万円を支給する。

認定農業者とは
効率的で安定した農業経営をめざす農業者が、農業改善計画を作成し市の認定を受ける。その計画達成に向けて、様々な支援策を受けられる。現在、始良市では、71人の農業者が認定農業者となっている。

調査特別委員会 議員定数を調査



地方自治の原点は、住民福祉の実現にあります。今、名古屋市や阿久根市をはじめ、地方自治のあり方をめぐる論議が高まり、議員定数に対してさまざまな考え方が出てきています。

合併前の3町の議員定数については、始良町20、蒲生町12、加治木町14で合計46でした。それを合併協議会において議員定数を30として、始良市がスタートしました。

今回新たに、議会発議により議員定数等調査特別委員会を設置しました。議会と議員の本来の役割を詳しく調査し、時代にみあった議員定数を定めます。構成委員は議長を除く全議員で、閉会中も継続して活動し、調査終了までを期間とします。

委員長 玉利 道満
副委員長 有馬 研一

条例

給与カット
市長 15%
副市長 10%
教育長 10%

「市長など三役の給料を20%カットします」という笹山市長の公約に基づき、特別職報酬等審議会への諮問を経て、給与減額の条例を制定しました。

その結果、市長15%減額で73万7800円、副市長10%減額で61万7400円、教育長10%減額で58万2300円となりました。期限は平成26年3月31日までです。

質疑 特別職報酬等審議会のメンバーは何人で、どのような方々か。

答弁 委員には公共的団体の代表としてJA、商工会および市内の企業から3人、市民代表として、3地区自治会・行政連絡機構代表、女性団体の代表、学識経験者として、大学教授および元行政経験者の計9人である。

質疑 市長の公約である20%カットの提案はできなかつたか。
答弁 公約実施には、議会や諮問機関等の専門的な意見等を参考にすることを基本としている。

質疑 報酬審議会では、減額することへの肯定的な考えが多かつたのか。

答弁 公約には共感できると、市長の職責を考慮すると20%カットが妥当なのか。また議員報酬や職員給与との差額、意欲への影響についての意見も出された。

質疑 類似市の市長等の給与はどうなっているか。
答弁 日置市は、市長15%減額で73万2700円、副市長10%減額で59万1300円、教育長8%減額で58万1440円である。

被災自治体を救え

東日本大震災被災地への支援を決議



▲今、私にできること

動き出した主な支援

- 緊急消防援助隊の派遣等 (3月14~23日)
- 義援金活動 (公共施設38か所)
- 留学制度
- 支援物資の受付
- 被災者用住宅・災害ボランティアの登録

去る3月15日、全国市議会議長会は災害支援本部を設置し、始良市議会も支援を決議しました。復興を願って市は消防援助隊を派遣。社協とともに、市内38か所で義援金活動を開始しました。今後、里親制度を設けた留学制度や支援物資の受付、被災者用住宅や災害ボランティアの登録が始まります。

復興を願って

3月11日に発生した大地震は、未曾有の甚大な被害をもたらしました。議会は国に対して、被災地支援のためのあらゆる施策と早急な実施を求め、始良市としても、最大限の努力を行うことを全会一致で議決しました。

請願と陳情

3件 **採択**
2件 **継続**

自主共済制度の保険業適用除外を求める陳情書

提出者 和田 みち子

アイル・アイラの閉鎖に伴う同施設の転売についての緊急措置依頼の陳情

提出者 佐藤 一義
川村 宗昭

大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書

提出者 鶴ヶ野 泰志

非営利団体である自主共済を、新保険業法の適用から除外するよう陳情書が出されていたが、国会で自主共済制度の原状復帰を趣旨とする保険業法の再改定法案が成立したことから、この陳情書の趣旨を良とし趣旨採択としました。

「この施設は、始良市にとって必要な施設である。同施設の取得と有効活用を望む。」とする陳情です。議会は、市が同施設を取得することは財政的に厳しいので不採択とするが、同施設の必要性に関しては理解できるので、趣旨採択としました。



▲安心の医療現場に

医療現場は、長時間・過密労働で過酷さを増し医師や看護師等の不足が深刻化しています。看護師等の夜勤の労働環境の改善と、大幅増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を図るための意見書提出を陳情します。

趣旨採択

請願に対する議会の意志決定は、理論的には採択か不採択しかない。しかし、議会としては願意は十分理解できるが、財政事情等から当分の間は願意を実現することが不可能である場合、「趣旨には賛成である」という意味で「趣旨採択」という。

(地方議会用語辞典より)

意見書

議会は陳情の主旨に沿った意見書を、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

教育委員の任命



小山田 邦弘氏
(43歳・蒲生町北)

平成23年5月14日から4年の任期です。

農業委員の推薦



前田 三枝子氏 今村 逸子氏
(60歳・小山田) (55歳・船津)

上記2人のほかに森川和美・東馬場 弘の両議員を含め、4人を推薦しました。

平成23年3月23日から3年の任期です。

継続審査

提出者	三久濱	市道、久末・薄原線の二車線化早期整備促進に関する陳情書	提出者	追鳥	市民生活に密着した道路など施設整備を求める請願書
	角保平			笹井	
三久濱	皓三郎	市道、久末・薄原線の二車線化早期整備促進に関する陳情書	紹介議員	義正	市民生活に密着した道路など施設整備を求める請願書
	海彦			一	

有効活用して活性化

加治木港と周辺

市長／県への要望を含め検討



東馬場 弘議員

東馬場 加治木港が、良市としての特色を生かした交流連携や地域産業の活性化を図り、恒久的な観光イベントが開催される広場や、各港とを結んだ海上交通体制などいま以上に注目されるよう、有効活用して活性化を考えないか。



▲企業誘致が望まれる港町地区

市長 加治木港の利用促進については、錦海漁協との連携を図りながら、周辺の利活用について協議し、県への要望を含め検討していく。

防犯(監視)カメラの設置

市長／主要箇所に設置

東馬場 防犯カメラの設置により犯罪抑止の効果も発揮されている。

その対策として庁舎内外、体育館、学校等に順次防犯カメラの設置を考えないか。

市長 市本庁舎の主要箇所には、順次監視カメラ

を設置している。

その他の場所への設置は必要性に応じて検討していく。

その他の質問

○始良地区中心街(十日町・脇元線)の水道管敷設整備



上村 親議員

バリアフリー化

改善に取り組み

市長／推進を図る

市長 総合計画をはじめ関連する諸計画と整合性を図り、バリアフリー化の推進を図る。

市民や関係機関で構成するバリアフリー等連絡協議会でも検討する。

重富駅跨線橋の階段の改修や屋根の設置は、JRに要望する。

小学校・斎場・消防庁舎の計画

市長／早急に着手する

上村 3事業ともに実施計画では大幅な予算が計上されているが、地方債が一気に膨らみ後年度負担が大きくなるか。

市長 3施設のPFI導入可能性調査の中で、施設規模やコスト及び後年度への財政負担のあり方について検討する。

建昌小学校分館新設は平成27年4月開校予定で、あいら斎場と消防庁舎は老朽化による安全性の面で必ず実施する。

問う 一般質問



▲屋根の設置が望まれる重富駅跨線橋

記念事業

始良市郷土誌の編さん

教育長／歴史民俗資料館で準備



玉利道満議員

玉利 旧3町がそれぞれの歴史と文化を尊重しながら、合併にいたった記念すべき1周年に、将来に評価される事業として始良市の郷土誌編さんに着手する考えはないか。
教育長 市誌の編さんは、始良市の新しい絆と誇りを確立するために大切な事業と認識している。
そのため、歴史民俗資料館では「始良市誌編さん」の準備を進めている。

高齢者の緊急時の対応

市長／新緊急通報システムを導入

玉利 高齢者の緊急時に対応できる通報体制の整備はどのように考えるか。

市長 専門の業者に委託して緊急時の対応や生活相談に応じる新しい緊急通報システムを導入する。これで、消防署・医療機関・協力者や親族への

連絡が迅速かつ適切に行われるようになる。

その他の質問

- 地域別まちづくり
- 斎場・消防署等の建て替え
- 旧吉田清掃センターの撤去



▲将来に評価される始良市の郷土誌

市政を

20人が

市長の思いは

市長／公共交通として推進

交通手段の確保



本村良治議員

本村 市長はどのような思いで、循環バスの運営を推進してきたか。
市長 現状は、自家用車への依存傾向が高まり、利用者の多様なニーズをすべて網羅する公共交通の確保は難しくなっている。
地域の高齢者や交通弱者の日々の生活を守るために、市として循環バスを公共交通として推進することを考えている。

その他の質問

- スポーツ少年団への支援策

森山交差点の渋滞緩和
市長／始良・伊佐振興局の事業
本村 森山交差点の渋滞



▲交通弱者の生活を守る循環バス

公共交通

買い物弱者対応を

市長／3庁舎間の巡回バス等で



森川和美議員

森川 公共交通機関の利用や移動困難な障がい者、要介護者等の方々が、買い物に困っている。

買い物弱者対策及び実態を示せ。

市長 現在、始良市役所と加治木・蒲生総合支所を結ぶ公共交通がない。

高齢者や交通手段を持たない方々へ、日常生活の交通手段として、平成23年4月から3庁舎間の巡回バスを運行開始する。買い物弱者の実態は把握していないが、関係各課が連携して各種の施策を推進する。

職員の勤務実態と改善

市長／市民の理解を得られるよう検討

森川 職員の勤務実態で、①月に何回ノーマル残業日があるか

②有給休暇の取得状況

③職員の喫煙者は何人で、喫煙時間を設定してはどうか

市長 ①ノーマル残業日は、毎週水曜日を設定

②平均取得日数9・3日
取得率24・5%

③喫煙者数約160人で喫煙率24・8%、節度ある喫煙を求め、市民の皆様に理解を得られる形で検討する



▲買い物に便利な上名乗合いバス

図書館

旧3町の連携

教育長／ネットワークを構築



法元隆男議員

法元 旧3町の図書館をコンピュータによって、ネットワーク構築はできないか。

教育長 ネットワーク構築は、「住民に光を注ぐ交付金事業」を活用し、機器の更新とインターネットを利用したシステムを構築する。



▲どこからでも貸し出し・返却ができる

これにより、始良市内のどこの図書館からも、新市の図書館カードにより貸出・返却等ができる。

法元 加治木図書館のトイレを水洗化するべきであると思うがどうか。

教育長 水洗化には、合併浄化槽が必要である。

敷地は加治木島津家の屋形跡で文化財保護法に基づき発掘調査が前提となり、多大な経費が生ず

ることから、早急に改善することは困難である。

交差点の事故防止

市長／通学路線変更等で検討

法元 田中線と田中川原線の交差点で、その後また事故が発生した。

根本的な解決策を問う。

市長 交通安全指導を徹底するほか、橋の利用方法や通学路線変更等を検討する。

体育施設

須崎公共用地内

教育長／総合計画で検討



神村次郎議員

神村 始良市全体のスポーツ施設の整備方針と、加治木地区の今後の整備計画を示せ。
教育長 体育施設の整備は、第2次（平成31年以降）総合計画の中で検討する。
加治木グラウンド（ソフボール場）の改修は、



▲改修が望まれる加治木グラウンド

関係団体等と協議し検討する。

また、須崎公共用地の市道海浜通り線より北側について公共用地ゾーン（スポーツ施設を含む）として総合計画の中で市民の意見を聴取して、検討する。

健康増進計画で保健師増員

市長／体制づくりに努める

神村 健康増進・予防医療に重点を置くために保

健師の増員はできないか。

市長 現段階では、早急な増員は難しいが、市民の健康増進と医療費の縮減を図るため、保健師等を専門性の高い業務に専念させ、より効果的に市民の健康増進に向けた積極的な取り組みを行える体制づくりに努める。

その他の質問

○歩道等公共施設のバリアフリー化の促進

朝礼

始業10分前の実践

市長／改善して実施する



堂森忠夫議員

堂森 市民へのサービスや、職場の人間関係を活かし会うために、各職場で始業10分前の朝礼実践はできないか。

市長 各職場での朝礼は毎朝始業時に実施し、全体朝礼は、毎週月曜日始業時に本館1階で実施している。

現在の朝礼が始業の時間帯であることから、来庁されたお客様にご迷惑をかける場合があるので、来年度から朝礼のあり方については、改善して実施する予定である。

空家解体費用の負担

市長／環境整備に取り組む

堂森 山村部の人口増のために、再生可能な土地の空き家住宅解体費用の負担などの条例等を整備できないか。

その他の質問

○倫理教育
○給食費無料化の要望を国へ

市長 改修費用への助成などの取り組みを行っている市町村もある。
今後、若年の就職支援による流出防止対策、U・Iターン者を積極的に受け入れるための環境整備等の取り組みを考えている。



▲解体費用の負担を望む空き家住宅

TPP本市への影響

農業政策

市長／28億円程度



堀 広子議員

堀 TPP（環太平洋連携協定）が、農業と地域経済に及ぼす影響は大きい。

本市農業への影響はいくらか。

市長 28億円程度になる。

堀 TPPのことを、広く市民に知らせるため、集会やシンポジウム等、



▲家族介護者に支援を

開催できないか。
市長 今、単独で開く考えはない。

今後、国の動向、県の指導を受け一緒に動くことが必要かと思う。

介護者の実態調査

市長／実施していく

堀 家族介護者への支援の拡充が必要だ。

本市でも15件の虐待が発生している。
在宅介護者の実態調査

を行い、調査結果を基に訪問相談をすべきではないか。

市長 専門職によるネットワークの強化で、介護者の現状把握のための実態調査及び訪問相談等を実施していきたい。

その他の質問

○肺炎球菌ワクチン接種

公費助成

○保健予防策

自主財源

課税手続きと対応

市長／法律・条例等で



和田里志議員

和田 構造的な財源不足が続いているとしている

が、自主財源の確保、特に市税に対する課税の免除・非課税・減免措置などの手続きと対応は、適正に行われているか。

市長 市税については、公平公正な課税と適正な納付の実施に努めている。課税免除及び減免・非課税については、法律や条例の定めるところにより今後適正な執行にあたっていく。

市民の視点にたったまちづくり

市長／3施設は同時に事業実施

和田 新市まちづくり計画を基本に、市民の様々な意見・提言に耳をかたまちづくりをさらに進めるとしているが、その考え方はどうか。

市長 小学校は、平成27年4月の開校に向けて、あいら斎場は炉の数の面で限界があり、消防庁舎は老朽化が進み、耐震構造になっていない状況なので、民間の資金やノウハウを活用する場合には、精査し、最善の方法により実施したい。



▲市土地開発公社の所有地は課税免除で駐車場に貸し出し中

地域づくり

ボランティア・ ポイント制度化

市長／関係機関と協議



竹下日出志議員

竹下 市民の力を活かせる地域づくりに向けて、ボランティアによる地域貢献を評価し、その活動に報いるための「ボランティア・ポイント制度」を導入する考えはないか。
市長 市民の力を活かすボランティア活動は、福祉部門に限らず幅広い分野と、対象区域の広い方が効果的である。
今後、県社協や市社協など関係機関とも協議し、検討する。



▲錦江湾クリーンアップでボランティア

買い物弱者支援策

市長／各商工会とも連携図る

竹下 商店街の衰退や小売店の撤退により、日常の買い物に困る高齢者などが増えている。

買い物弱者に対して支援策は考えないか。

市長 支援策として、

- ①身近な場所に店を作る
- ②家まで商品を届ける

③出かけやすくすることが挙げられる

買い物弱者は、高齢化に伴い今後増加が予想され、各商工会とも連携を図り有効な対策をとる。

その他の質問

○家庭的保育・保育ママ事業

○公共施設の使用料

子宮頸がんワクチン 接種費助成

市長／動向を見守る



新福愛子議員

健康支援

新福 平成23年度に子宮頸がんワクチン接種の助成を実施しないのは、県内43自治体のうち始良市だけである。

誠に残念な結果だが、その理由は、

市長 厚労省の専門家委員会の慎重論を重視し、同ワクチンに対する助成

の未実施を決めた。
今後、セミナーなど学習の機会をつくりながら、厚生科学審議会等の動向を見守っていく。

「人権尊重都市」宣言

市長／議会とともに検討

新福 一人ひとりが大切にされ「県内一暮らしやすい始良市」実現のため、「人権尊重都市」宣言をする考えはないか。

その他の質問

○夢と実効性のあるまちづくり

市長 基本的人権が尊重され、市民の一人ひとりが希望と誇りを持ち、安心して暮らせるまちの実現を目指して、人権に関する宣言を行うことは非情に意味がある。

今後、議会とともに、検討を重ねていきたい。



▲この笑顔を守りたい

マニフェスト

取組と今後の課題

市長／優先順位に沿って



河東律子議員

河東 市長のマニフェスト実施へ向けての取組みと、今後の進め方はどのようにしていくのか。市長「県内で一番暮らしやすいまち」を目指して、取組んできた。



▲子育て支援の予算が増えました（帖佐保育園）

子育て世代を支援するための、小学生の医療費無料化やヒブワクチン、不妊治療費の助成、3町間を結ぶ循環バス運行等に取り組んできた。今後、優先順位に沿って進めていく。

温暖化防止の取組み

市長／電気使用量等調査中

河東 地球温暖化防止についての取組み状況はどうか。

市長 冷暖房設備を効率的に運用するため、運転期間、運転時間、適正な室内温度等を定めている。庁舎内での取組みを定めた地球温暖化防止計画の作成は、二酸化炭素排出量の算定に必要な全施設の平成22年度電気使用量等を調査中である。また、環境家計簿のページを、生活カレンダーの中に設けている。

その他の質問

○子宮頸がんワクチン接種の考え方

地域住民の協力も頂きながら効果ある対策の普

湯之原 鳥獣被害防止計画は策定されているか。猟友会会員の高齢化や会員数の減少への対応策は考えられているか。市長 市鳥獣被害防止計画は県と協議を進め22年度に策定した。



湯之原一郎議員

有害鳥獣 猟友会への対応策

市長／若い世代への啓発に努める

及啓発に取り組む。猟友会へ若い世代の方が入会し、狩猟の方法や有害鳥獣の捕獲等が伝承していけるよう、啓発に努める。



▲鹿の角で傷められた杉

姉妹都市盟約

市長／国際交流を進める

湯之原 市のホームペー
ジにある台湾員林鎮との姉妹都市盟約締結を考慮するに至った経緯、締結時期、盟約締結後の交流について考え方を問う。

その他の質問

○歩道の整備

市長 始良市が誕生し、国際化が進む今日において、これに対応できる人材育成や国際交流を進めることが必要と考える。3年後を目標に取り組みたい。市職員の派遣事業や文化交流、市の特産品を活用した経済交流を考えている。

ちようさじゅうく にちうまおど
帖佐十九日午踊り
 に支援
 教育長／実行委員会と協議



湯川逸郎議員

湯川 地域伝統行事で、古くから伝承されている「帖佐十九日鈴かけ午踊り」保存会への支援が必要と思うが。
 教育長 帖佐十九日午踊りを保存伝承する保存会を発足するとともに、市の文化財の指定を受ける必要がある。



▲春を呼び込む午踊り（帖佐十九日午）

今後、帖佐ふれあい祭り実行委員会の方々と協議をしたいと考える。

未給水地域は

市長／解消に向け検討する

湯川 飲料水供給施設の未給水地域の現状と今後の取り組み、また地域水道施設が何箇所あるか。
 市長 未給水地域は主に中山間地域に点在し、井戸や湧水等を活用しており、その実態の分析は行っていない。今後、解消に向け検討する。
 地元が管理している水

道施設が加治木に2地区、蒲生に10地区で197戸ある。

○**その他の質問**
 ○青少年の健全育成

里山 鹿児島市は平成22年と23年度で31校に12億6千万円の子算化を実現している。
 始良市でも降灰の影響の大きい学校から設置を急いだらどうか。
 教育長 降灰による授業への影響が極めて強い地域には空調設備を整備するため、市の財政状況を見極めながら、国の補助事業等を活用するなど、教育環境の整備について研究する。

クーラー設置

小中学校普通教室

教育長／降灰による影響を考慮



里山和子議員

住宅リフォーム助成事業
 市長／今すぐには考えない
 里山 助成事業を実施して、経済効果を上げている自治体が増えている。
 曾於市、西之表市、出水市で実績があり、住民

や地元業者に喜ばれている。この助成制度の導入は考えないか。
 市長 確かに経済効果を含め事業効果はあると思うが、今すぐにこの制度を創設する考えはない。

○**その他の質問**
 ○小児科・内科の夜間緊急診療
 ○男女共同参画
 ○道路の維持補修に予算の増額を



▲普通教室にもクーラーを

例規集

管理・開示の取扱い

市長／例規システムの完成から



湯元秀誠議員

湯元 新市の例規等の制定の進捗状況及び、条文等の管理・開示の今後の取扱いを問う。
市長 新市誕生で条例・規則・要綱など547件を専決、施行した。合併後も96件を制定・改正した。
今後とも新規制定、一部

改正が必要であり、例規システムを早く完成させ、市のホームページで公開する予定である。
湯元 入札参加資格の格付け基準設定、建設工事の標準金額設定の根拠、建設工事発注見直し情報の公表、入札に関する情報、執行結果の公表はどのようになされているか。
市長 格付けは、県の経営審査事項の技術事項等を除く総合評価点を準用している。
標準金額は県が定める運用基準と市の工事請負

その他の質問 ○農業振興

額等を参考に協議決定している。
工事発注見直し情報の公表は4月・10月の年2回、入札の指名、執行結果についても公表している。

森 始良市は島津義弘公関係の史跡や行事が数多く残っている。日置市との交流も含め一大観光に取り組んだらどうか。
市長 昨年、日置市と姉妹都市盟約を締結した。今年、イベント時の相互乗り入れなど協議する。始良市の知名度アップに各方面から意見を伺っており、NHKの大河ドラマに義弘公を取り上げて頂くために各方面に働きかける。



▲市ホームページに公開予定の例規集

観光

義弘公を生かせ

市長／大河ドラマに取り組む



森弘道議員

建昌城跡の整備
教育長／歴史と自然を生かす
森 建昌城跡の価値をどのように捉え、市として活かし取り組むのか。

教育長 建昌城跡は、県指定の可能性もある。今後、文化庁及び県教育委員会の指導を受けながら、上野原遺跡にみられるような史跡整備の手法を取り入れ、市民の憩いの場として親しまれる歴史と自然を生かした公園を目指す。

その他の質問
○ごみ(可燃物)処理
○職員の活かし方



▲藩主時代の帖佐居館大手門跡（帖佐稻荷神社）
（門は現在出水小学校の校門になっている）

各種行事

実施方法の検証

市長／個々に考え実施



出水昭彦議員

出水 各種行事を合併したから統合ではなく、個々に実施も考えてはどうか。

統合して成人式は保護者が参列できなかったが、市長 合併協議会の調整方針「一本化したほうが好ましいものは統合し、独自のものは原則現行のとおりに」を尊重する。成人式については、実施方法を十分協議して実行委員会に助言していく。その他の行事も十分検討し実施する。

恒久的な学校運営

教育長／多方面から検討

出水 (仮称)松原小新設を期にこの地域に公営住宅を建設し、今後の学校運営の安定化を目指せ。また、給食方法も根本的に検討せよ。

教育長 恒久的な学校運営についての住宅施策は、平成23年度作成の住宅マスタープランの中で考える。

給食の方式は、建昌小で調理し新設校へ運搬する親子方式を検討中。市全体の学校給食は自校方式とセンター方式があり多方面から検討する。



▲新設の(仮称)松原小学校予定地

建設事業費はいくらか

市長／600億円余り

公共下水道



田口幸一議員

田口 公共下水道を推進するには、予算はいくらになるか。事業開始から終了まで何年かかるか。国・県の補助制度はどのようなになっているか。



▲川をきれいに 清掃作業中の中学生

市長 始良町・加治木町下水道協議会が、平成13年に見直しを行った。公共下水道基礎調査によると、始良・加治木の計画処理区域内全域の、面積約2137ヘクタールを整備した場合、概算で施設の建設費は600億円余りになるとの試算が示されている。

建設期間は30年となっている。補助制度は、公共下水道事業を活用した場合、国庫補助金が2分の1となる。

その他の質問

- 都市計画の用途
- 新学習指導要領で増える新聞の利用

あん質問な いけんなった

追跡



▲手狭になった建昌小学校

旧町時代から度々一般質問で
取り上げられた課題が実現しました。

始良市ふるさと ハローワーク設置

平成23年3月22日 仮オープン
6月中旬オープン予定

(仮称)松原小学校

平成27年4月開校(予定)

就業希望者の就職の促進や利便性の向上が図れる「地域職業相談所」の設置を始良町に。

(旧始良町で一般質問 平成19年6月議会)

建昌小は児童数も多く、校庭も狭く、
教育環境は悪い。

松原の小学校建設予定地に分離・新
設すべきだ。

(旧始良町で一般質問 平成19年6月議会)

答弁 国分と鹿児島島の職業安定所の混雑
を回避する上でも調査研究を進める。

平成22年12月15日、始良市小中
学校区審議会から答申があった。

- ・新しく分離・新設することが適切である
- ・通学区域は、松原上・松原下・あさひ団地・塩入団地
- ・総合計画に位置づけ、年次的に推進



▲開設されたふるさとハローワーク

くすの木 自然館

美しい海・豊かな海を 未来に引き継ぐ

私たちふるさとの海「錦江湾（鹿児島湾奥）」は、国立公園に指定されます。

勇壮な桜島、蒼や紅の錦の上をカモメたちが飛び、イルカもはねる。美しいふるさとの海「錦江湾」。

この美しく豊かな海を未来に引き継ぐための保全活動をしているのが「NPO法人くすの木自然館」です。

活動の拠点は重富海水浴場内の海の家

NPO法人くすの木自然館は、環境教育や自然体験活動を通して、鹿児島



▲ふるさとの海をきれいに がんばるぞ

島を愛する人々を育て、豊かな郷土の風土（自然・文化・生活）を後世に良い状態で継承していくための環境保全・風土継承活動を進めています。

また、環境調査の生きたデータをもとに、環境教育を進める調査・研究・教育・環境保全を行う専門機関として、昭和62年より活動している特定非営利活動法人です。

取り組んでいる活動

自然環境調査

干潟のゴカイやアサリ等の底生生物や野鳥・ほ乳生物・植物層など、地域の自然環境について調査を行います。

始良市内では、錦江湾内の干潟、河川の生物調査、蒲生町漆での環境省のモニタリング一〇〇〇、J.Tの森重富の自然環境調査、クロツラヘラサギ

等の絶滅危惧種調査等です。
小学校の環境教育

漆小、西浦小、重富小等始良市内外の小学校等の環境教育の授業サポートを教室やフィールドで行っています。

環境保全活動

山野自治会やSAPの皆さんと重富海岸の毎日のクリンアップや錦海漁協と藻場・干潟のプロジェクト、エコウォーター錦江湾（環境浄化微生物）で河川の水質浄化に取り組んでいます。

地域活性化とまちづくり

また、始良市内や錦江湾奥のエコツーリズムに取り組んでいます。

その一端が始良市内の商店や生産者と消費者をつなげる「umibe de marche（ウミベデマルシエ）」です。

半日で1800人以上の皆さんに、おしゃれな朝市を楽しんでいただきました。

その他、始良市まちづくりリーダー養成講座の



▲たくさんのお客さんで賑わったウミベデマルシエ（朝市）

これからの取り組み

専門性を活かした自然環境調査や地域コーディネートにより、環境保全や地域活性化にさらに寄与できるように取り組んでいきたいと思えます。

錦江湾の国立公園化に向けて、市民一丸となって地域の環境保全や活性化に協働で取り組んでまいります。

表彰を受けました

これまでの取り組みに対して、表彰を受けました。

- 平成18年 県民表彰
- 平成23年 鹿児島景観賞奨励賞
(代表 立山 芳輝)

※エコツーリズムとは、環境問題に重点を置きながら、自然と調和した観光開発を進めようという考え方。



▲入学式で新たな「いっぽ」をふみ出しました

「思いやり」あふれる街を願って

西 明恵 加治木町小山田



思いやりをもらって

障がいを持つ娘と街を歩いていると、他人の些

細な心遣いに助けられることがあります。

障がいを持つ娘を育てることは、今までの常識を捨て自分を育て直す作業であり、試行錯誤の連続でした。そんな中、保健師さんのサポートのものと親の会「いっぽ」を発

してきました。人とつながることの大切さを感じながら、子どもたちが安心して過ごせる未来のために一歩一歩活動を重ねています。

また、3年間通った幼稚園では、先生方をはじめ多くの方々に暖かく見守られ、「みんなちがってみんないい」「子どもはこどもの中で育ち合う」と実感する貴重な経験となり、地域に出ていく勇気ももらいました。

暖かい気持ちがあふれ、言葉がない分、思いやりの心が育つことを実感しています。学校が笑顔あふれる場所になるよう、親子共に安心して過ごせる場所を少しずつ広げて行きたいと思っています。

いっぽ1年生

4月からはいよいよ、念願の地域の小学校に通います。特別支援学級設立にあたっては、たくさんの方に支えて頂いたおかげと感謝の想いでいっぱいです。

まだまだ課題は多いですが、今、娘の周りには

誰もが安心して暮らせる街を願って

核家族化が進み、近所付き合いが希薄になっていく今こそ、ほんの少し相手の気持ちに寄り添い理解しようとする心、お互いを支え合うことの大切さを改めて感じます。

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

次回は
6月中旬予定

編集後記

東日本大震災で発生した津波の怖さを日を増す毎に知り、ニュースを見ていると、自然と涙が出てきました。

国家的危機を国民が救いの想いで一丸となり、復興を願いながら、前進していきたいです。合併して2年目を迎え、本格的な予算が計上されました。

笹山市長が掲げる、県内で一番暮らしやすい始良市を旗印に、安心して安全な地域づくりのために、執行部と議会とは1歩離れて2歩離れずの白熱議論が交わされました。

8人の編集委員は、信頼される広報紙を目指し作成に努めていますので、ご愛読下さい。(堂森)

発行責任者

議長 兼田 勝久

広報等調査特別委員会

- 委員長 河東 律子
- 副委員長 新福 愛子
- 委員 笹井 義一
- 委員 竹下日出志
- 委員 堂森 忠夫
- 委員 堀 広子
- 委員 安田 久
- 委員 湯之原 一郎